

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	エステティック概論/関連法規		担当教員	林 佳那子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <エステティック概論>コミュニケーション能力を高め自ら行動し、即戦力となる人材を目指すこと。 社会人として、必要とさせる人になるための自己啓発をする。 1、ライフキャリアのための自己啓発、各種マナー（就労・接客・電話対応） 2、就職活動に向けての目標の設定（自己表現・サロンリサーチ・履歴書作成・面接対策） <関連法規>卒業後の就職に際し、企業（エステティックサロン）側の営業活動の根幹を理解すること。 1、法規に関して（法の基礎知識・消費者保護・広告及び消費者への訴求に関する知識） 2、カウンセリングの必要性 3、エステティックサロンの運営に必要なもの							
授 業 計 画	1~2	社会人としてのビジネスマナー対応、身だしなみ、立ち居振る舞い・心構え					
	3~4	エステティックマネジメント（どんなサロン？なりたいエステティシャンは？※ディスカッション）					
	5~6	エステティック関連法規、エステサロンシステム、業務について					
	7	前期試験					
	8~9	カウンセリングの為の基礎知識					
	10~11	面接指導、履歴書作成練習（客観的に判断し自己分析する）					
	12~13	面接練習、サロンリサーチ					
	14~15	即戦力となり、活躍するエステティシャンになるための自己啓発					
	16	後期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 50% ②前期試験 50%						
教科書・教材	・エステティック関連法規 ・エステティックマネジメント						
使用教具・器材	・模造紙 5枚 ・A4用紙 30枚						
テキスト・参考文献： ・リセラアカデミー（マナー対応編 心の接遇）							
その他(授業担当者のコメントなど) 自ら考え、行動し、物事を見極められる力を養い、社会人として必要とされるエステティシャンを育成します。 ディスカッションにて個々を客観的に見て判断したりすることで、自分をさらに知るきっかけになり、 自信と希望をもって就職できるよう、授業内でしっかり学んでください。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	解剖生理学		担当教員	高橋 みさ子				
授業形態	講義・演習		授業時間数	80	単位数	5	授業回数	40
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ●誰もが心身ともに健やかに生きたいと願うが、自然に訪れる老化現象をはじめ、多様な理由から健康を損なったり、心身の不調を感じたりする。そのメカニズムを理解する。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●生物体が生きて働く生理学と、その構造を調べる解剖学がある。この二つを結びつけ学ぶ。 								
授 業 計 画	1~3	解剖生理学 生理解剖学の基礎知識 恒常性の維持、代謝、反射、臓器の働きなど基礎的な項目を学ぶ						
	4~5	生体調節のしくみ 自律神経系のしくみやその作用について学ぶ						
	6~8	人体構成のしくみ 人体の形態的構成、物質的構成について学ぶ						
	9~13	骨格・筋肉系統について 骨・筋肉の種類とその名称と働きについて学ぶ						
	14~15	消化器系について 消化器系とその付属期間の働きについて学ぶ						
	16~17	呼吸器・循環器系について						
	18~19	前期試験（解剖学・生理学基礎）						
	20	呼吸器・循環器のしくみや体循環・肺循環について学ぶ						
	21	心臓の自動性と刺激伝導系、血液成分について学ぶ						
	23	泌尿器・生殖系について						
	24~25	腎臓の働きや生殖と遺伝について学ぶ						
	26~27	内分泌系について						
	28	内分泌・外分泌、ホルモンと分泌腺、女性らしさについて学ぶ						
	29	人体のしくみを具体的に理解しさらにワークショップを実施する						
	30~35	大脳生理学 大脳生理学の基礎知識 脳の構造とその働きについて学ぶ 神経系の構造とそのしくみについて学ぶ						
	36~37	人体生理学・大脳生理学のまとめ						
	38.39	後期試験（解剖生理学・大脳生理学）						
40	後期試験振り返り							
成績評価	①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90% ＊平常点は出席率100%で10%の評価とする。							
教科書・教材	エステティック 1. (青本) 新版 からだのしくみカラー辞典 配布プリント							
使用教具・器材	模造紙 1枚 ゼブラハイマッキー12色 色鉛筆12色以上							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) マジック12色以上(ハイマッキー極太・細)・色鉛筆(12色以上)・A4サイズ30穴のリングファイル(配布プリント用)								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	80	単位数	5	授業回数 40
科目の到達目標及び授業内容 皮膚の構造図が書ける。皮膚の構造・生理作用を理解する。 スキンタイプとその特徴を理解する。 皮膚（身体）の老化について。（酸化と糖化）抗酸化作用（アンチエイジング）について知る。 肌トラブルの要因、紫外線との関係、その対策を学ぶ。 化粧品検定2級取得をし、INFA国際ライセンス資格取得のために確実な知識を習得する。 正しい肌分析を行い、個々にあったトリートメントプランが組み立てられる。							
授 業 計 画	1～6	皮膚科学を学ぶ目的・皮膚の構造図を書く					
	7～9	表皮の構造図を書く					
	10～12	皮膚の構造・表皮の構造 確認テスト					
	13～15	皮膚の生理作用					
	16	皮膚の生理作用まとめ 確認テスト					
	17～20	前期試験対策					
	21	前期試験					
	22	皮膚トラブルについて・要因と対策					
	23～25	皮膚トラブルについて・要因と対策 日本化粧品検定模試					
	26	日本化粧品検定対策					
	27～29	環境と肌について					
	30～36	老化について：酸化と抗酸化 糖化（AGEs）について					
	37～38	肌分析 カウンセリングシートの記入					
	39	後期試験					
	40	後期試験の振り返り					
	成績評価	①平常点（出席率10%・授業態度や意欲10%）10% ②定期試験（前期40%・後期40%）80%					
教科書・教材	・テキスト ・配布プリント ・化粧品検定1.2.3級対策テキスト ・からだのしくみ事典						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 基本的な皮膚の知識（皮膚の構造、生理作用、トラブル肌）を理解し、言葉で説明ができることを目標にしましょう。 皮膚科学は、エステティシャンにとってとても大切な教科です。検定試験や就職後のサロンワークにおいてモデルやお客様の正しい肌分析ができる、その方に合ったトリートメントができるように貪欲に学びましょう。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/後期			
科 目 名	栄養学		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 栄養学の基礎知識として、5大栄養素について学ぶ。 エネルギー産生の栄養素、身体の調整素、構成素としての栄養素について学ぶ。 健康や美の土台は食べ物にあるということを理解し、肌や身体との関りに関心を持つ。							
授 業 計 画	1	・テキスト序章 健康・栄養新事情					P5~P130
	2, 3	・テキスト第1章 栄養学入門 栄養学を学ぶ目的について理解させる					P62~P67
	4	・テキスト第4章 栄養素早わかり 炭水化物について (糖質・食物繊維について) まとめテスト					P76~P75
	5	脂質について まとめテスト					P76~P79
	6, 7	たんぱく質について まとめテスト					P80~P129
	8	ビタミン・無機質について まとめテスト					
	9, 10	・復習と小テスト					
	11	・テキスト第2章 活動とエネエルギー					P31~P40
	12	・テキスト第3章 年代別栄養 エネルギー産生を行う栄養素について ライフサイクルに合わせた栄養の摂り方 まとめテスト					P41~P60
	13	・テキスト第5章 機能性成分 健康を守る注目の食品成分について					P131~P148
	14	・テキスト第6章 代謝のしくみ I まとめテスト					P153~P165 P166~P172
	15	・テキスト第6章 代謝のしくみ II 咀嚼、消化、吸収について まとめテスト					P166~P172
	16	・テキスト第7章 症状別栄養 食べ物と病気の関係について					P174~P235
	16	・後期試験対策 要点復習					
	16	・後期試験					
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 10% ②定期試験 90%					
教科書・教材	栄養の基本がわかる図解辞典 プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 「身体は食べたものからしか作られない」という言葉の意味を深く理解しましょう。 積極的に学んだ知識を実践し、内面からの美を意識しましょう。 エステティシャンを目指す心構えとして、生活習慣と美容の関係について興味や関心を持ちましょう。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/前期				
科 目 名	香粧品学		担当教員	新原 涼子				
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16	
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に使用している化粧品とはそもそも何なのか（定義）、化粧品の種類（アイテム）と使用目的とを学ぶ。 ・化粧品に関する法規や化粧品が作られる際の原料を学ぶ。 ・化粧品の成分を学び、スキントypesに合わせた化粧品の選定ができるようになる。 ・化粧品学を学ぶことで、お客様の肌に合わせた化粧品販売と、ケアのアドバイスができるようになる。 ・化粧品検定2級取得をし、INFA国際ライセンス資格取得のために確実な知識を習得する。 								
授 業 計 画	1～4	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品学とは何か（概論） 化粧品の定義（薬機法）と役割 化粧品の品質特性について ・正しいスキンケアの実践（クレンジング 洗顔） 						
	5～6	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の分類と特徴 基礎化粧品 メイクアップ化粧品 ボディケア化粧品 ヘアケア化粧品 フレグランス 						
	7～8	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の原料と成分を学ぶ 油性原料 水性原料 保湿剤 界面活性剤 着色料 薬剤 その他の原料 （化粧品検定対策教本 1級参照） 						
	9～11	<ul style="list-style-type: none"> ・紫外線について サンスクリーン剤について 						
	12～13	<ul style="list-style-type: none"> ・紫外線と老化について 油性原料 水性原料 保湿剤 界面活性剤 着色料 薬剤 その他の原料 （化粧品検定対策教本 1級参照） 						
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・スキントypes別の化粧品選択 						
	15	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験 						
	16	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験振り返り 						
	成績評価 <p>①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90%</p> <p>*平常点は出席率100%で10%の評価とする。</p>							
	教科書・教材		エステティック II（赤本）、化粧品検定教本1. 2. 3級 プリント配布					
	使用教具・器材							
	テキスト・参考文献： A4クリアファイル（配布資料の保存）							
	その他(授業担当者のコメントなど) エステティシャンは様々な化粧品を取扱います。化粧品の成分やその働きを学び、肌質の合わせた選択ができるようになります。日本化粧品検定2級取得を目指して意欲的に取り組んでください。基礎知識を学んで、お客様の肌質やご要望に合わせて化粧品の選択や販売ができることが最終到達点です。抗老化や抗糖化をキーワードとして幅広い知識を身につけましょう。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	フェイシャル		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にフェイシャル実務経験)				
授業形態	講義・実習		授業時間数	160	単位数	5	授業回数	80
科目の到達目標及び授業内容 肌診断後、その肌に応じた(ハンド・美容機器を含めた)トリートメントを組み立て、時間内に施術が出来るようになる。 マッサージの六技法や、施術全般の目的を理解し、知識に基づいた技術をマスターする。 施術工程の目的に併せた化粧品を選択し、知識を技術に反映させることができるようになる。 皮膚科学や解剖生理学で学んだ肌や身体の知識を基に、相手を思いやる気持ちを掌で伝えるエステティシャンとして、必要なスキルを身につける。身の回りの整理整頓から始まりサロンワークに最低限必要なことを実習を通して体験する。 居心地のいい空間作りを想像し、技術だけの癒しではなく人間性を育成する。								
授 業 計 画	1-3	教材配布・タオル等糸付け(個人区別用)・タオルの取り扱い、教材の説明						
	4-6	実習室備品等の説明・機器の使用方や注意点・実習準備や片付け						
	7-8	ベッド誘導・ターバン・スポンジ手順・蒸しタオル手順				F:フェイシャル		
	9-11	マッサージの目的や六技法・技術ポイント等				D:デコルテ		
	12-13	クレンジング(フォームF)・オイル塗布(D&F)・オイル伸ばし						
	14-16	クレンジング(ポイントメイク・デコルテ)						
	17-19	トレーニング						
	20-22	マッサージデコルテ①(1~6)						
	23-25	マッサージデコルテ②(7~11)						
	26-28	トレーニング						
	29-31	実技テスト						
	32-34	トレーニング						
	35-37	トレーニング						
	38-40	前期試験						
	41-43	吸引・機器						
	44-46	マッサージフェイシャル①(12~21)						
	47-49	マッサージフェイシャル②(22~33)						
	50-52	マッサージフェイシャル③(34~45)						
	53-54	トレーニング						
	55-57	パック						
58-59	パック							
60-62	トレーニング							
63-65	マッサージテスト							
66-68	トレーニング							
69-71	トレーニング							
72-74	トレーニング							
75-77	トレーニング							
78-80	後期試験							
成績評価		①平常点(出席・授業態度・意欲)10% ②前期試験40%・後期試験40% ③確認テスト10% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材		ファイル1冊(プリント配布)・メモ帳・クリップボード						
使用教具・器材		フェイシャル機器(吸引・電気導入・ウッドランプ・スチーム)						
テキスト・参考文献:								
その他(授業担当者のコメントなど) 接客に必要なマナーの五原則(身だしなみ・挨拶・表情・態度・言葉遣い)を授業内で徹底いたしますが、授業外でも、積極的に自分自身と向き合い、素敵なエステティシャンになる努力をしてください。 仲間と共に向上心を持ち、限りある時間を大切に取り組みましょう!								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年				
科 目 名	メイクアップ	担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 メイクアップの基礎知識・基礎技術を習得し、顔を的確に観ることが出来るようになる。 また、TPOに合わせた応用メイク、個性を活かしたメイクアップとバリエーションを広げ、メイクアップの総合技術を習得する。							
授 業 計 画	1.2.3	教材配布・ガイダンス・テーブルセッティング・モデル（ウィッグ）セッティング・基本スタンス・体重移動 セルフメイク実習					
	4.5.6	ベーシックメイクアップ①相モデル実習					
	7.8.9	ベーシックメイクアップ②相モデル実習					
	10.11.12	ベーシックメイクアップ③相モデル実習					
	13.14.15	ベーシックメイクアップ④相モデル実習					
	16.17.18	ベーシックメイクアップ⑤相モデル実習					
	19.20.21	ベーシックメイクアップ⑥相モデル実習					
	22.23.24	前期実技試験					
	25.26.27	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ①					
	28.29.30	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ②					
	31.32.33	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ③					
	34.35.36	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ④					
	37.38.39	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑤					
	40.41.42	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑥					
	43.44.45	総復習					
	46.47.48	後期実技試験					
	成績評価	1) 平常点 40% (出席・授業態度意欲・準備忘れ物、課題提出、各10%) 2) 定期試験 60% (前期30%、後期30%)					
教科書・教材	教科書・メイク教材一式・スキンケア用品・その他（ウィッグ・ヘアバンド・タオル・綿棒・ティッシュペーパー・コットン類・トレイ類・色鉛筆・スケッチブック）						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) まつ毛に付帯的な装飾（エクサ、パーマ）等は禁止。（授業の進行に支障がある為。） 毎回メイク実技を行いますのでメイク道具類の忘れ物がないようにしてください。（道具の貸し借り不可） 特にメイクブラシやスポンジ、パフ類は洗浄、消毒したものを持参し、使いまわしは絶対にしないようにしてください。（皮膚感染症の観点から） メイク道具を忘れた場合は実習見学となります。エフォームの着用（ワナ-長袖白Tシャツ可・上着着用不可）、適切な身だしなみ、道具類の準備は授業開始前に行っておくこと。学校配布教材以外のメイク道具は使用禁止。皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をして下さい。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次／通年				
科 目 名	ネイル	担当教員	宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容							
<p>ネイルケア、ポリッシュカラー、アートの基礎知識と技術を学び、JNEC 3級試験の資格取得を目指す。 リペア、チップラップ等のエクステンション技術の入門を学びトラブルネイルにも対応できるようにする。 2年次に行われるINFA国際ライセンスの資格取得へのトレーニングをし受験に備える。 資格取得目標の他に、サロンワークに必要な接客マナー、身だしなみ、器具の衛生管理やサロン内の 環境を整える大切さを学び、お客様が心地良く感じられる手指や腕の支え方、声掛け、誘導等の所作も磨く。 JNECネイリスト技能検定試験3級 受験予定日2024年10月27日(日曜日)</p>							
授 業 計 画	1～3	教材説明(道具加工と取扱注意点)、ネイルケア基礎理論、テーブルセッティング、手指の支え方					
	4～6	テーブルセッティング、器具&手指消毒、カウンセリング、ファイリング(タイプ別カットスタイル)、パフイング ※カットスタイル別ファイリングの課題					
	7～9	ファイリング復習(ラウンド)、キューティクルクリーン ※カットスタイル別課題 提出&チェック					
	10～12	カラーリング(ベース、トップコート)の必要性、ボトルクリーニング、ポリッシュオフ ※カットスタイル別課題 再提出&チェック					
	13～15	フラットアート(フラワー、葉、ドット等)&ストーンアート アクリル絵の具の特性、ブラシ、ピンセットの使用方法 ※カットスタイル別(前回)課題のチェック/次回課題3級指定フラットアートの課題					
	16～17	ネイルケア～カラーリング～アート(JNEC3級の流れ)通し練習 ※フラットアート課題 提出&チェック					
	18～20	ネイルケア～カラーリング～アート 70分間タイムアタック ※フラットアート課題 提出&チェック					
	21	前期筆記試験					
	22～24	前期実技試験					
	25～27	JNEC3級検定試験対策					
	28～30	フラットアート(フレンチ、マーブル、スポンジアート等) ※フラットアート課題 提出&チェック					
	31～33	リペア&チップラップ					
	34～36	リペア&チップラップ、アートチップ作品制作について					
	37～39	INFA試験対策 後期試験実技課題 アートチップ試作品提出&チェック					
	40～41	INFA試験対策 後期試験実技課題 アートチップ試作品提出&チェック					
	42～44	INFA試験対策 後期試験実技課題 アートチップ試作品提出&チェック					
	45	後期筆記試験					
	46～48	後期実技試験 課題提出(アートチップ提出)					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験(筆記 40% 実技 40%) 3) 課題 10%						
教科書・教材	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイルケア用具一式、ケアに必要なアルコール、コットン、ペーパー類 共用で使用するポリッシュ類、筆記小テストプリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:							
必要に応じて筆記試験対策としての小テストを行います。出題はJNECの筆記試験の出題傾向を参考に作成します。							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業に必要な道具やテキスト等は前日までに各自で確認をして準備してください。 実技は基本的に相モデルで行います。お互いに配慮のある姿勢で受講するようお願いします。 作品等の課題や宿題は作成期間に余裕を持って仕上げるように心がけましょう。(前日仕上げは美しく仕上がらないため) 使用した道具やテーブル回りは、毎回授業の終わりに必ず綺麗にして清潔に保ち大切に保管して下さい。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1 年次／通年				
科 目 名	アロマセラピー	担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーとは・精油（エッセンシャルオイル）の安全な使用方法・プロフィール等、芳香療法を多方面から学ぶ。 原材料・歴史や健康学等の知識を深め、アロマセラピー検定1級取得をねらう（任意） ※アロマ環境協会 アロマセラピー検定試験時期 11月上旬							
授 業 計 画	1.2	テキスト・教材配布・ガイダンス・アロマセラピー概論					
		精油プロフィール①シソ科・理論					
	3.4	精油プロフィール②ミカン科・理論					
		精油プロフィール③フトモモ科・理論					
	5.6	精油プロフィール④バラ科・理論					
		精油プロフィール⑤カンラン科・理論					
	7.8	精油プロフィール⑥ヒノキ科・理論					
		精油プロフィール⑦キク科・理論					
	9.10	精油プロフィール⑧イネ科・理論					
		精油プロフィール⑨フウソウ科・理論					
	11.12	精油プロフィール⑩パンレイシ科・理論					
		精油プロフィール⑪ビャクダン科・理論					
	13.14	精油プロフィール⑫モクセイ科・理論					
		精油プロフィール⑬コショウ科・理論 ⑭エゴノキ科・理論					
	15.16	復習・模擬テスト					
	17	前期筆記試験					
	18.19	理論まとめ・検定受験対策					
	20.21	理論まとめ・検定受験対策					
22.23	アロマセラピー応用・実践①						
24.25	アロマセラピー応用・実践②						
26.27	アロマセラピー応用・実践③						
28.29	アロマセラピー応用・実践④						
30.31	総復習						
32	後期筆記試験						
成績評価	1) 平常点 40% (出席・授業態度意欲・準備忘れ物、課題提出、各10%) 2) 定期試験 60% (前期30%、後期30%)						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト その他プリント						
使用教具・器材	アロマセラピー配布教材						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) エステティシャンには欠かせない知識・技術のアロマセラピー（芳香療法）です。1年次には主に知識面を学習します。知識の習得度を客観的に判断する為、アロマ環境協会主催のアロマセラピー検定1級の受験（11月）に合わせたスケジュールで進めていきます。植物アレルギーや皮膚疾患等ある場合は事前に申し出てください。授業開始前にユニフォーム着用の上、身だしなみ、準備等済ませておくようにしてください。衛生消毒には十分に留意し、道具の管理をお願いします。授業中、寒暖差の調節の為の上着、ソックスは許可を得てから着用してください。フード付き、モヘアニット素材、ロングコートは不可とします。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	脱毛／フットケア		担当教員	鶴 舞子（美容業界勤務時に脱毛実務経験）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 毛の構造、毛の成長経過、毛の性質や部位別の毛の働きを理解する。 眉毛やうぶ毛の処理をすることによりメイクアップの仕上がりに変化があることを他教科と並行して修得する。 脱毛処置の技術（一時的脱毛、電流による脱毛処理）、脱毛後の肌のお手入れ、脱毛処理ができない肌状態、健康状態など、脱毛に関する多方面から脱毛テクニックを修得する。 くるぶしから下のフットケア（ペディキュア含む）の技術を修得する。							
授 業 計 画	1-2	フットケア理論（解剖生理学の理解・爪の病気・足のトラブル）① 準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する					
	3-4	フットケア・ペディキュアデモンストレーション/トレーニング①					
	5-6	フットケア・ペディキュアトレーニング② ワックス脱毛①					
	7	毛髪についての基礎知識①					
	8	フットケア・ペディキュアトレーニング③					
	9	ワックス脱毛②					
	10-11	ワックス脱毛③					
	12-13	フットケア・ペディキュアトレーニング④					
	14	フットケア理論（解剖生理学の理解・爪の病気・足のトラブル）② 毛髪についての基礎知識②					
	15-16	後期試験（筆記・実技）					
成績評価	① 平常点 10% ② 後期試験（筆記） 30% ③ 後期試験（実技） 60% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキスト ファイル1冊（プリント配布）						
使用教具・器材	ビューティーフット・オイル・油性ワックス・その他						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 挨拶をする・時間を守る・忘れ物をしない。 常に向上心を持って、時間を大切に組みましよう！							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	村上 幸子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルカラリスト検定3級合格を目指す。 ・ 身の周りの色彩に興味を持ち、実践に役立つ基本的な色彩の知識や色の使い方を身につける。 ・ 色彩を通し仕事の幅を広げていけるようにする。 							
	1~2	オリエンテーション・第1章 ◇色彩と文化（四季の自然を表す色～慣用色名などを学ぶ） ◇日本の色の歴史・・古来より美しい色彩、歴史とのかかわり					
	3~4	第1章 色彩と文化 ◇色と生活・・周りを取り巻く様々な色を見る ◇色の種類・・色名について理解する 第2章 色彩理論 色のしくみ～ 色の見えるメカニズムを知る ◇物体色と光源色の理解 ◇光の波長と色への理解 ◇眼の構造と働きについて					
	5~6	第2章 色彩理論 色の三属性～色を表す物差しについて理解する ◇CUS表色系 ◇色相・色調について（色相環・色調図作成）					
	7~8	第2章 色彩理論 カラーアンダートーンシステムについて学ぶ ◇色相配色・色調配色					
	9~10	第2章 色彩理論 色の三属性と対比現象 ◇対比現象・・対比効果と同化効果について（プリント） ◇色の感情効果・・色のイメージや心理効果について ◇CUS配色効果 アンダートーン配色 配色演習					
	11~12	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー概論 ◇アンダートーンとシーズンの特徴を知る ◇肌のしくみ・皮膚の構造・髪の毛の科学・ヘアメイクについて					
	13	前期試験					
	14	第3章 色彩とファッション～ブライダルと色彩について、服飾史の基礎知識 ・基本的な配色テクニック(プリント)					
	15~16	パーソナルカラーまとめ 検定対策・過去問題・回答解説					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
教科書・教材	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト・カラーカードCUS157						
使用教具・器材	はさみ・スティックのり・アンダーライン用のカラーマーカー 各自で準備をお願いします						
テキスト・参考文献： パーソナルカラリスト3級問題集 COLOR Arreangement・パーソナルカラー診断アドバイスシート Fashion and Beautyファッション&ビューティーの色彩							
その他(授業担当者のコメントなど) 楽しく使える色の知識を学び、身の回りの色彩に興味・関心を持ってほしい。 基本的な色彩の知識・スキルを習得しパーソナルカラリスト検定3級合格を目指す。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	ボディワーク		担当教員	小柳 佐知子				
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・心身統一 ・自律神経を整え、心の健康を維持する ・ヨガのポーズに慣れる ・ヨガを通して生活を豊かにする知識と技を学ぶ 								
授 業 計 画	1	自己紹介・授業の進め方・呼吸法（腹式）・坐法（リラックス）						
	2～4	呼吸法（腹式・胸式・鎖骨式）・坐法（リラックス） 2：ヨガとは 3：トレーニングの基礎理論 4：ヨガ哲学 ギーター						
	5～8	呼吸法（完全・止息の呼吸）・坐法（リラックス・太陽礼拝古典） 5：つば 6：トレーニングの基礎理論 7：ギーター 8：つば						
	9～12	呼吸法（完全・短い呼吸）・坐法（姿勢改善・太陽礼拝A） 9：トレーニングの基礎理論 10：ギーター 11：つば 12：トレーニングの基礎理論						
	13～16	呼吸法（完全・勝者の呼吸）・坐法（骨盤調整・太陽礼拝A） 13：骨盤底筋群について 14：つば 15：トレーニングの基礎理論 16：質疑応答						
成績評価	平常点 100% （出席率40%・授業態度40%・準備10%・忘れ物10%）							
教科書・教材								
使用教具・器材	マット・ブロック2個・ベルト・ラジカセ・水							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 動きやすい運動着と素足で行います。スカートやジーンズやストッキングは脱いでください。								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/前期				
科 目 名	キャリア形成		担当教員	松岡 尚美				
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 「キャリア」というと、過去に得たものや経歴をイメージしがちですが、ここでは自分の将来を見据えた生き方と捉え、これからの人生を自分らしく素晴らしいものにしていく為の人生設計のこと。 働くことの意味を理解し現場の即戦力となれるよう、「考え方・行動・スキル」を身につけるため3つの能力を習得する。 ①ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・言葉遣い・電話対応・来客対応と訪問・ビジネス文書・ホスピタリティ） ②企業・組織のしくみ、仕事の進め方 ③就職活動に必要な心構え・準備								
授 業 計 画	1	オリエンテーション、自己紹介 ホスピタリティとは						
	2	ビジネスマナーの持つ役割、社会人基礎力とは						
	3	キャリアプラン作成（自分を知り5年後、10年後のキャリアを考える）						
	4	社会人とは「社会人と学生の違い」、挨拶とお辞儀、接客7大用語の実践						
	5	言葉遣いの基本（敬語、クッション言葉などビジネスに適した言葉遣い）						
	6	好感を与える第一印象の整え方（身だしなみ、笑顔の作り方と効果）						
	7	電話対応（電話のかけ方・受け方）の実践、笑声の出し方						
	8	来客対応と訪問のマナーの実践						
	9	ビジネス文書、手紙の書き方（宛名書き、お礼状、添え状）						
	10	面接の入退室マナーと実践						
	11	模擬面接、フィードバック（問題把握、課題、改善）						
	12	仕事の進め方の基本（「目標」と「目的」を区別する、「経営理念」とは、「仕事」と「作業」の違い）						
	13	仕事の進め方の基本（重要な計画と準備、PDCAサイクル）						
	14・15	メンタルヘルスの整え方、コンプライアンスを正しく理解する 前期試験対策						
	16	前期試験						
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20 % ②定期試験 80%						
教科書・教材	適宜プリント配布							
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター、スクリーン							
テキスト・参考文献： 【参考文献】2024新入社員基礎講座/経営書院								
その他(授業担当者のコメントなど) 「キャリア形成」で学ぶことは、学生から社会人となり、人生・職業生活を豊かに生きていくために必要なスキルです。 社会人として求められるビジネスマナーや社会人基礎力など最初のうちは窮屈に感じられるかもしれませんが、ひとたび身につければ、見える景色が変わります。「自分ならできる」とまずはポジティブに考え受講してください。								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/前期				
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジ実務経験)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・エステティシヤンの身だしなみとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ヘアアレンジに興味を持ち、日常の自分のヘアスタイルにも工夫し身だしなみを整える ・何度も繰り返し練習することで、技術を習得する。説明を聞き、手元を見て、実践することで、集中力を養う ・似合わせのデザインを考える力と、最後まで作り上げる責任感を持つ ・浴衣の着付けの手順がわかりひとりで着付けができるようになる ・欠課が無いよう自己管理をする 								
授 業 計 画	1	自己紹介、一年間の流れや目標確認	アイロンで巻く	自分の夜会巻きスタイルの練習	①			
	2		アイロンを使って巻く (ストレート) 三つ編みまとめる	自分の夜会巻きスタイルの練習	②			
	3	浴衣 着付け①						
	4	浴衣 着付け②						
	5		アイロンを使って巻く (カールとストレート) ツイストでまとめる	夜会巻きチェック①				
	6	お茶会にご招待参加①	下にまとめるスタイル&浴衣着付け					
	7	一束スタイル (ポニーテール土台)		夜会巻きチェック②				
	8	カールでポニーテールアップスタイルを作る	①	夜会巻きチェック③				
	9	カールと編み込みでスタイルを作る	①	夜会巻きチェック④				
	10	カールと編み込み, おくれ毛でスタイルを作る	②	夜会巻きチェック⑤				
	11	浴衣 着付け③						
	12	浴衣 着付け④						
	13	お茶会にご招待参加②	下にまとめるスタイル&浴衣着付け					
	14	カールでポニーテールアップスタイルを作る	②	夜会巻きチェック⑥				
	15	編みおろしスタイルを作る						
	16	サイドカールスタイルを作る		最終道具消毒片付け				
成績評価	1) 平常作品点 50%		2) 夜会巻き点 20%		3) 出席点 30%			
教科書・教材	プリント配布							
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚、消毒清掃用タオル一枚、浴衣道具一式 コーム、ピン、ダックカール、ビニールゴム、夜会巻きコーム (すべて初回配布あり)							
テキスト・参考文献:								
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンは私物使用になるため、いま使用中のものを用意の事 (授業内で説明あり) 浴衣道具一式に関しては事前に配布プリントにて説明済み								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/後期			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	金澤 由美 (美容業界にて福祉皮膚美容実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●個々のQOLを高めるための福祉活動の在り方について学ぶ。							
授 業 計 画	1~2	福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアを学ぶ ○ 福祉活動の意義について ○ 人体の老化による変化を知る ○ 心身活動に対する適応 ○ 老化の原因 ○ 皮膚のしくみ					
	3~4	ハンドケア ○ アロマセラピーの人体への作用 ○ 福祉皮膚美容の手技を習得する ○ 一般的な手技と福祉皮膚美容士の施術の違いを習得する					
	5~7	校外予定					
	8~9	フットケア ○ 足のリフレッシュケアを習得 爪のケアとカラーリング ○ 福祉活動においての爪のケア 表情筋トレーニングとセラピーメイク ○ 表情を豊かにするセラピーメイクを習得する					
	10~12	校外予定					
	13	「緩和ケアの意義」「福祉皮膚美容士の倫理」についてレポート					
	14	実技試験 (ハンド・ネイル)					
	15~16	校外予定					
成績評価	① 平常点(出席・授業態度) 30% ② 実技試験 70% *平常点は出席率100%で10%の評価とする。						
教科書・教材	福祉皮膚美容教本 (No1~No7)						
使用教具・器材	タオル、ネイル道具、メイク道具、マッサージオイル (教材を使用)						
テキスト・参考文献： 新版 からだのしくみカラー辞典							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆 (12色以上) A4サイズ(30穴)のリングファイル A4クリアファイル(配布資料の保存) 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	サロン実務		担当教員	新原 涼子 (美容業界勤務時に実務経験)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス運営において、高校生の満足度を上げるためのコミュニケーション能力を身につける。 ・オープンキャンパス運営において、3つの「配り」とチームワークの大切さを身につける。 ・サロン校外実習において、実際のエステティックサロンの流れや接客の仕方などを学ぶ。 ・就職を見据えて、エステティシヤンの仕事を理解する。 ・サロンマナー・ビジネスマナーを身につける。 身だしなみ、敬語、接客用語、所作、電話応対、挨拶の仕方など身につける。								
授 業 計 画	1～30	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスの目的と在校生の役割を理解する ・オープンキャンパスの日は10:30～16:00と変動する 準備から片付け、反省会までの一連の流れを知る チームの中での自身が担当する役割を遂行する 高校生の気持ちを理解し、高校生目線で分かりやすく教えることができる ・高校生に憧れられる所作やマナーを身につける 						
	31～33	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン校外実習についての心構え 						
	34～45	<ul style="list-style-type: none"> ・【サロン校外実習】 4日間 校外実習の目的と意義を明確にする エステティシヤンとして「お客様のために」身につけることとは何か 清潔感のある身だしなみを徹底する 挨拶のしかた（接客8大用語）・お辞儀の角度 マナー、接客用語、身だしなみの徹底 サロンワークの一連の流れを知る 報連相の大切さを学ぶ メモを取る習慣を身につける 日報の記入、提出（詳細な記入と期限厳守） 						
	46～48	<ul style="list-style-type: none"> ・【サロン校内実習】 サロン校外実習前の心構え、準備物、報連相について サロン校外実習の振り返り 						
成績評価	① 平常点(出席) 40% ② レポート 20% ③ サロン評価 40%							
教科書・教材								
使用教具・器材								
テキスト・参考文献:								
その他(授業担当者のコメントなど) 貴重なサロン校外実習を通して、エステティシヤンという職業を知り、今後の自身の方向性を考えてください。 社会人として基本的なマナーや常識を身につけていきましょう。就職を視野に入れて行動するようにしましょう。 オープンキャンパスの運営では、チームワークで高校生の満足度を上げることを目標に行動しましょう。								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	エステティック概論/関連法規		担当教員	林 佳那子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <エステティック概論>コミュニケーション能力を高め自ら行動し、即戦力となる人材を目指すこと。 社会人として、必要とさせる人になるための自己啓発をする。 1、ライフキャリアのための自己啓発、各種マナー（就労・接客・電話対応） 2、就職活動に向けての目標の設定（自己表現・サロンリサーチ・履歴書作成・面接対策） <関連法規>卒業後の就職に際し、企業（エステティックサロン）側の営業活動の根幹を理解すること。 1、法規に関して（法の基礎知識・消費者保護・広告及び消費者への訴求に関する知識） 2、カウンセリングの必要性 3、エステティックサロンの運営に必要なもの							
授 業 計 画	1~2	社会人としてのビジネスマナー対応、身だしなみ、立ち居振る舞い・心構え					
	3~4	エステティックマネジメント（どんなサロン？なりたいエステティシャンは？※ディスカッション）					
	5~6	エステティック関連法規、エステサロンシステム、業務について					
	7	前期試験					
	8~9	カウンセリングの為の基礎知識					
	10~11	面接指導、履歴書作成練習（客観的に判断し自己分析する）					
	12~13	面接練習、サロンリサーチ					
	14~15	即戦力となり、活躍するエステティシャンになるための自己啓発					
	16	後期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 50% ②前期試験 50%						
教科書・教材	・エステティック関連法規 ・エステティックマネジメント						
使用教具・器材	・模造紙 5枚 ・A4用紙 30枚						
テキスト・参考文献： ・リセラアカデミー（マナー対応編 心の接遇）							
その他(授業担当者のコメントなど) 自ら考え、行動し、物事を見極められる力を養い、社会人として必要とされるエステティシャンを育成します。 ディスカッションにて個々を客観的に見て判断したりすることで、自分をさらに知るきっかけになり、 自信と希望をもって就職できるよう、授業内でしっかり学んでください。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年											
科 目 名	皮膚科学		担当教員	高橋 みさ子											
授業形態	講義・演習		授業時間数	48	単位数	3	授業回数	24							
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 人体のしくみを理解し皮膚の状態からケアの方法を導き出すことを学ぶ。 ● 皮膚トラブルの要因とその対処について必要なカウンセリングの方法を学ぶ。 ● 「考察する」ことが顧客満足度を高めることを学習する。 ● エステティック専門職のコミュニケーション能力を高める。 ● INFA国際試験のために口頭試問の強化をする。 															
授 業 計 画		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">エステティシャン必須理論</td> </tr> <tr> <td>皮膚学（解剖生理・皮膚生理・皮膚トラブル）</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>前期試験</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>後期試験</td> <td>1</td> </tr> </table>						エステティシャン必須理論		皮膚学（解剖生理・皮膚生理・皮膚トラブル）	22	前期試験	1	後期試験	1
	エステティシャン必須理論														
	皮膚学（解剖生理・皮膚生理・皮膚トラブル）	22													
	前期試験	1													
	後期試験	1													
	1~2	人体生理学及び皮膚生理学全般復習（三面美容・3Rの法則・皮脳同根・恒常性）													
	3~14	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>肌別トリートメント</td> <td>肌のケア</td> </tr> <tr> <td>◎ 皮膚トラブルの分析</td> <td>色素沈着のケア</td> </tr> <tr> <td>◎ 原因と予防とケアを考察</td> <td>皺のケア</td> </tr> <tr> <td>◎ カルテの作成方法</td> <td>毛細血管拡張症のケア</td> </tr> </table>						肌別トリートメント	肌のケア	◎ 皮膚トラブルの分析	色素沈着のケア	◎ 原因と予防とケアを考察	皺のケア	◎ カルテの作成方法	毛細血管拡張症のケア
	肌別トリートメント	肌のケア													
◎ 皮膚トラブルの分析	色素沈着のケア														
◎ 原因と予防とケアを考察	皺のケア														
◎ カルテの作成方法	毛細血管拡張症のケア														
15	前期試験														
16~20	国際試験カルテ作成及び口頭試問の訓練														
21~22	三面美容及び皮脳同根についての復習														
23	プロになるための必要不可欠な倫理について														
24	後期試験														
成績評価	①平常点(出席・授業態度) 10% ②定期試験 90%														
教科書・教材	エステティック教本（青本・赤本） 新版 からだのしくみカラー辞典 日本化粧品検定対策教本 資料（プリント）配布														
使用教具・器材															
テキスト・参考文献： 化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典・学習に必要な参考書															
その他(授業担当者のコメントなど) A4サイズ30穴のリングファイル（配布プリント用）															

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年				
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授業時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーの基本的体系をはじめ、目的とその必要性、ワンランク上の専門知識と技術の習得を図りサロンワークに役立つスキルを得る。また、パーツトリートメントとしてもニーズの高いフットやハンドトリートメントを行う上で不可欠なリフレクソロジー（反射区療法）、トータルトリートメントとしてリンパドレナージュと一般的なエステティックトリートメントとの違いについての理論を学び技術の習得も目指す。								
授 業 計 画	1.2	教材配布・オリエンテーション	アロマオイルを使った反射区（療法）(1)フット・ハンド・その他					
	3.4		アロマオイルを使った反射区（療法）(2) フット・ハンド・その他					
	5.6.7		課外授業（予定）					
	8.9.10		アロマオイルを使った反射区（療法）(3) フット・ハンド・その他					
	11.12		アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ①					
	13.14		アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ②					
	15.16		アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ③					
	17.18.19		アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ④					
	20.21.22		アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑤					
	23.24		前期まとめ					
	25		前期筆記試験					
	26.27		体質別 施術①					
	28.29		体質別 施術②					
	30.31		体質別 施術③					
	32.33		体質別 施術④					
	34.35		体質別 施術⑤					
	36.37		体質別 施術⑥					
	38.39		体質別 施術⑦					
	40.41		体質別 施術⑧					
	42.43		体質別 施術⑨					
44.45		復習						
46.47		総まとめ						
48		後期筆記試験						
成績評価	1) 平常点 40% （出席、授業態度意欲、準備忘れ物、課題提出、各10%） 2) 定期試験 60% （前期30%、後期30%）							
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト・教科書・その他プリント配布 タオル類・筆記用具・色鉛筆							
使用教具・器材								
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回エステユニフォーム着用（インナー長袖白Tシャツ可・上着着用不可）適切な身だしなみで受講してください。 植物アレルギー、皮膚疾患等がある場合は、早めにその旨申し出てください。 相モデルで行います。正当な理由なくモデルをしない学生は成績評価に反映します。								

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次/通年					
科 目 名	エステティック応用	担当教員	高橋 みさ子					
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	160	単位数	5	授業回数	80	
科目の到達目標及び授業内容 ● エステティシヤンの倫理とは顧客満足度を高めるために「考察する」ことを身につける。 ● 皮膚トラブルの要因とその対処方法を実践する。 ● エステティシヤンの倫理とは顧客満足度を高めるために「考察する」ことを身につける。 ● 国際パスポート取得のための技術レベルアップを目的とする。								
授 業 計 画	1~80	エステティックを極めるための講義で、INFA国際パスポートを取得するための必須理論・技術内容 接遇・マナー 4 テクニック編（肌質理論/カウンセリング/カルテ） 5 芳香療法・海洋療法の一般知識 2 フェイシャルマッサージ技術 8 肌別トリートメント 8 ボディマッサージ 8 ボディケア（機器） 5 パーティメイク（夜会） 5 ネイル 3 ワックス脱毛 3 フット・ペディキュア 5 実技総合演習 13 前期筆記・実技試験 7 後期筆記・実技試験 4 80						
	成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲)20% ② 定期試験80% 前期40% (筆記20% 実技20%) 後期40% (筆記20% 実技20%)						
	教科書・教材	エステティック 1. (青本・赤本) 新版 からだのしくみカラー辞典 INFA国際試験受験用マニュアル資料配布物						
	使用教具・器材	フェイシャル機器・ボディ機器・ベッド・ワゴン周辺機器・消毒器・ホットキャビ・精製水関連物品 化粧品・メイク教材・ネイル教材・白衣（清潔なもの）・タオル類（糸くずシミがない物）他小物類準備						
	テキスト・参考文献： 解剖生理学参考書・化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典・学習に必要な書物は自由に準備する。							
	その他(授業担当者のコメントなど) ◎ A4サイズ30穴のリングファイル（配布プリント用） ★ エステティシヤンの倫理に必要な不可欠な時間です。同じ時間を戻すことはできません。 限られた自分の時間を大切に邁進されますように！							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	東洋医学		担当教員	星野 晶子			
授業形態	講義	授 業 時間数	64	単位数	4	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 質の高いエステシャンになるにはプライマリケアを学ぶことが重要である。すなわち、皮膚、体にトラブル発生する前にそれを未然に防ぐためのケアが行えるよう、健康を保つための人体のバランスを調え方を学ぶことが重要である。物販業に有利な登録販売者資格の取得を視野に入れ、身近に購入できる医薬品を中心に学ぶことで、正しい薬の使い方を習得し、自身の健康維持に役立てる。さらに、東洋医学の考え方、女性特有の疾患を学ぶことで自分自身、あるいはエステシャンとしてプライマリケアを活用できるようにする。							
授 業 計 画	1	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 ①医薬品概論					
	2	第3章 主な医薬品とその作用 ①精神神経に作用する薬					
	3	小テスト、第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 ②医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因					
	4	第3章 主な医薬品とその作用 ②呼吸器官に作用する薬、③胃腸に作用する薬					
	5	小テスト、第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 ③適正な医薬品選択と受信勧奨、④薬害の歴史					
	6	第3章 主な医薬品とその作用 ④心臓などの器官や血液に作用する薬					
	7	小テスト、第2章 人体の働きと医薬品 ①人体の構造と働きその1					
	8	第3章 主な医薬品とその作用 ⑤排泄にかかわる部位に作用する薬 ⑥婦人薬					
	9	小テスト、第2章 人体の働きと医薬品 ①人体の構造と働きその2					
	10	第3章 主な医薬品とその作用 ⑦内服アレルギー用薬 ⑧鼻に用いる薬 ⑨眼科用薬					
	11	小テスト、第2章 人体の働きと医薬品 ②薬が働く仕組み					
	12	小テスト、第2章 人体の働きと医薬品 ③症状から見た主な副作用					
	13	前期試験範囲の説明 第3章 主な医薬品とその作用 ⑩皮膚に用いる薬					
	14	前期試験					
	15	前期試験解説 第3章 主な医薬品とその作用 ⑪歯や口中に用いる薬 ⑫禁煙補助薬					
	16	小テスト、第4章 薬事関係法規・制度 ①医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的等					
	17	小テスト 第3章 主な医薬品とその作用 ⑬滋養強壮保健薬 ⑭漢方処方薬、生薬製剤					
	18	第4章 薬事関係法規・制度 ②医薬品の分類、取扱い等 その1					
	19	小テスト 第3章 主な医薬品とその作用 ⑮公衆衛生用薬 ⑯一般用検査薬					
	20	第4章 薬事関係法規・制度 ②医薬品の分類、取扱い等 その2					
	21	小テスト 第4章 薬事関係法規・制度 ③医薬品の販売の許可 その1					
	22	小テスト 第5章 医薬品の適正使用・安全対策 ①医薬品の適正使用情報					
	23	小テスト 第4章 薬事関係法規・制度 ③医薬品の販売の許可 その2					
	24	小テスト 第5章 医薬品の適正使用・安全対策 ②医薬品の安全対策 ③医薬品の副作用等による健康被害の救済					
	25	小テスト 第4章 薬事関係法規・制度 ④医薬品販売に関する法令遵守					
	26	小テスト 第5章 医薬品の適正使用・安全対策 ④一般用医薬品に関する主な安全対策 ⑤医薬品の適正使用のための啓発活動					
	27	小テスト					
	28	小テストの解説					
	29	東洋医学の考え方					
	30	女性特有の疾患					
	31	中医学-経絡について					
	32	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	ズルい！合格法 医薬品登録販売者試験対策鷹の爪団直伝！参考書Z超配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 人体絵本-めくってわかるからだのしくみ-							
その他(授業担当者のコメントなど) 平常点は、宿題の提出、内容、出欠状況、授業態度を考慮します。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	ボディワーク		担当教員	小柳 佐知子			
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> 心身統一 自律神経を整えて、心の健康を維持する ヨガのポーズに慣れる ヨガを通して生活を豊かにする知識と技を学ぶ 							
授 業 計 画	1	自己紹介・授業の進め方・ヨガの呼吸について・呼吸法（腹式）					
	2～4	呼吸法（腹式・胸式・鎖骨式・片鼻の呼吸）・坐法（リラックス） 2：ヨガとは 3：トレーニングの基礎理論 4：ヨガ哲学 ギター					
	5～8	呼吸法（完全・止息の呼吸）・坐法（姿勢改善・太陽礼拝古典） 5：つぼ 6：トレーニングの基礎理論 7：ギター 8：つぼ					
	9～12	呼吸法（完全・短い呼吸）・坐法（骨盤調整・太陽礼拝A） 9：骨盤底筋軍 10：トレーニングの基礎理論 11：ギター 12：つぼ					
	13～16	呼吸法（完全・強者の呼吸・輪の呼吸）・坐法（美脚・太陽礼拝B・ペアヨガ） 13：トレーニングの基礎理論 14：ギター 15：つぼ 16：質疑応答					
成績評価	平常点100%（出席率40%・授業態度40%・準備10%・忘れ物10%）						
教科書・教材							
使用教具・器材	ヨガマット・ブロック2個・ベルト・ラジカセ・お水・運動着						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 動きやす運動着で行います。スカートやジーンズやストッキングは脱いで行ってください。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	茶道		担当教員	関野 ちか			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 日本の伝統文化である茶道を通して、立ち居振る舞いとおもてなしの心を会得する。 点前の作法から日常生活の向上と合理性を理解し、茶道を生活の中に生かすとともに礼儀を学ぶ。 客（もてなされる側）と亭主（もてなす側）が互いに相手を思って行動する。 浴衣を着ることで所作を身につけ、きれいに早く着ることができるようになるとともに和服の手入れとたたみ方を学ぶ。							
授 業 計 画	1～2	茶道とは 古儀茶道敷内流について 茶席のマナー 浴衣着付け お辞儀の仕方（扇子の扱い方） 薄茶、お菓子のいただき方					
	3～4	立ち居振る舞い 道具について 割り稽古（ふくさ捌き） 薄茶、お菓子の運び方					
	5～6	割り稽古（茶碗、茶筌の扱い方、茶巾のたたみ方） 主菓子と干菓子 客と亭主					
	7	割り稽古（棗、茶杓、柄杓の扱い方）					
	8	客と亭主 1年生を招いて呈茶					
	9～14	風炉薄茶 運び点前 客と亭主					
	15	風炉薄茶 山里棚点前 客と亭主					
	16	まとめ 茶会（先生方及び1年生を招いて）					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 実技テスト 50%						
教科書・教材	ふくさ・扇子・懐紙・菓子切り 浴衣一式・足袋						
使用教具・器材	ふすま・たたみ・毛氈・電気ポット・延長コード 風炉釜・茶碗・茶杓・茶筌・棗・茶巾・柄杓・蓋置・建水・菓子器						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業の始めと終わりに畳をから拭きすること。 浴衣を着て授業をします。髪は夜会巻きまたはシニヨン等、結んでまとめる。 欠席、忘れ物などは減点評価になります。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/前期			
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジ実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ 同じ髪型でもモデルが違くとアレンジが変わることを実感し、現場対応力や提案（アプローチ）の実践をする ・ 浴衣に合わせた髪型を意識したり、TP0に合わせた髪型を考えて作る ・ 着付けの手順を理解して、一人で粋な浴衣の着付けができるようにする ・ 短時間で似合わせるスタイルを作り、完成させるこだわりを持つ ・ 欠課が無いよう自己管理をする 							
授 業 計 画	1	浴衣の着付け①	1年間の流れについて確認				
	2	浴衣の着付け②					
	3	お出かけ用ヘアアレンジ ①	夜会巻きチェック①				
	4	浴衣用のヘアアレンジ ①	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	5	浴衣用のヘアアレンジ ②	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	6	お出かけ用ヘアアレンジ ②	夜会巻きチェック②				
	7	浴衣用のヘアアレンジ ③	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	8	お出かけ用ヘアアレンジ ③	夜会巻きチェック③				
	9	浴衣用のヘアアレンジ ④	まとめ髪スタイル+浴衣着付け <お茶会1年生ご招待>				
	10	浴衣用のヘアアレンジ ⑤	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	11	浴衣用のヘアアレンジ ⑥	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	12	お出かけ用ヘアアレンジ ④	夜会巻きチェック④				
	13	お出かけ用ヘアアレンジ ⑤	夜会巻きチェック⑤				
	14	浴衣用のヘアアレンジ ⑦	まとめ髪スタイル+浴衣着付け				
	15	浴衣用のヘアアレンジ ⑧	まとめ髪スタイル+浴衣着付け <お茶会1年生ご招待>				
	16	お出かけ用ヘアアレンジ ⑥	道具片付け消毒				
成績評価	1) 平常点 65 % (授業中のスタイル課題 + 着付けチェック + 出席点) 2) レポート 20 % (企画書提出) 3) 夜会巻きチェック 15%						
教科書・教材							
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚、消毒用タオル1枚、浴衣道具一式						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンは私物使用になるため、各自で用意の事（授業内で説明あり） 浴衣道具説明は事前に一式別紙にて説明済み							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	金澤 由美 (美容業界にて福祉皮膚美容実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●医療分野の中で美容技術を活かしコミュニケーションをとることで社会に貢献する活動を学ぶ。 ●福祉皮膚美容士ができるレクリエーション活動の基本バリエーションを企画し実行する。 ●美容技術を活かし社会福祉活動において幅広く貢献できる人材を目指す。 							
授 業 計 画	1～2	1 社会福祉活動の意義 ① 現在の社会事情について考える ② 様々な問題について考察し実行する ③ 考えをまとめレポート提出					
	3～5	2 緩和ケアの意義について ① 身体機能の老化の素因と予防方法を学ぶ ② 認知症の知識とケア (ヘッドマッサージ) ③ 学習したことをまとめて提出する ④ レクリエーションを創作する ⑤ 緩和ケアを総括的にレポートして提出する					
	6～14	課外活動 (ボランティア活動予定 (3日間)) 介護施設や地域貢献ボランティアなど 1 施設ごとにレポート提出する 課外活動ができない場合は校内授業で実施 (スケジュールに合わせ適宜参加します)					
	15	2級認定試験対策					
	16	前期試験					
成績評価	① 平常点 (出席・授業態度) 60% ② 課題 レポート 40%						
教科書・教材	福祉皮膚美容テキスト プリント配布						
使用教具・器材	実技教材 (化粧品一式) タオル一式						
テキスト・参考文献: A4サイズファイル (配布資料の保存) クリップボード							
その他 (授業担当者のコメントなど) 毎日の暮らしの中で感謝の気持ちを忘れず礼節をわきまえ凛とした態度で過ごしましょう。 人を敬い優しい心配りができる人間になりましょう。							

2024年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	サロン実務		担当教員	新原 涼子 (美容業界勤務時に実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	224	単位数	7	授業回数 112
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシヤンの仕事に対する意識を高め。顧客心理を理解する。 ・ サロンワークに必要な、接客マナー、実践テクニック、営業力、コミュニケーション能力を身につける。 ・ 社会性を身につけ、働く意義を自覚させる。 ・ 考える能力を高め自己啓発を促進させる。 ・ チームワーク力を高める。 ・ 校外サロン実習を通して、就職後の自身の課題を見出す。 							
授 業 計 画	1~5	【校内授業】	・ オープンキャンパスの目的を確認し、2年生としての自覚をもって新しいスタートを切る				
	9~11	【オープンキャンパス運営】					
	14~16		・ 先輩としての自覚を持ち1年生への指導を行う				
	36~61		<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパスの日は10:30~16:00 (状況に合わせる) ・ 高校生の気持ちになって、満足度の高い接客を行う ・ 授業を通して更なる実技の上達を目指す ・ 行動、言動全てにおいて1年生の手本となる ・ 常に身だしなみが整っている 				
		【校内サロン運営】					
	6~8		・ 感謝デーとし、集客を行う				
	12~13		・ 各種マナー (就労マナー・接客マナー・電話対応マナー) を実践する				
	17~23		・ メニュー作りから接客対応、サンキューレター作成までのサロンワークの流れを実践する				
	24~29		・ 校内サロン運営~6月21日 (金) 6月22日 (土) の2日間				
	30~32		・ 校内サロン運営の振り返り				
		【校外サロン実習・校内研修】					
	62~65		・ 校外サロン実習の心構えと校内研修				
	66~80		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日・土 11:00~18:00 (実質6時間) (サロンによって異なる) ・ 日報作成・レポート提出 (詳細に記入、提出期限厳守) ・ サロン様からの評価を真摯に受け止め課題を見出す ・ サロン校外実習振り返り レポート作成 				
	81~82		・ 校外サロン実習の振り返り				
	83~100		・ 校外サロン実習				
	101~106		・ 校外サロン実習の振り返り				
	107~112		<ul style="list-style-type: none"> ・ サロン校外実習振り返り レポート作成 				
		【就職に向けての心構え】					
			<ul style="list-style-type: none"> ・ CS (顧客満足) とは何か=お客様に望まれるエステティシヤンとは何か ・ 利他の心=エステティシヤンとしてのおもてなしの心 (ホスピタリティ) とは何か ・ AIDMAの法則 (購買心理) について ・ チームビルディング・報連相 ・ 実績の大切さと数字に対する仕事の姿勢について 				
成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲) 60% ② レポート 20% ③ サロン評価 20%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 就職を見据えて、計画的に将来のエステティシヤン像を構築していきましょう。 サロンワークでは、3つの気配りを忘れず、周りを見て行動することを心がけましょう。 「心、技、知」の揃ったプロを目指しましょう。							

